

速報

経済産業省より平成30年度の 買取価格委員長案が発表されました！

平成30年度買取価格委員長案

太陽光10kW未満 ※昨年決定済		太陽光10kW以上
出力制御対応機器 設置義務なし ※東京電力と関西電力と中部電力管内です	出力制御対応機器 設置義務あり	全量売電・余剰売電ともに
26円 / kWh (税込)	28円 / kWh (税込)	18円 / kWh + 税
買取期間 10年間		買取期間 20年間

10kW未満の買取価格は
来年度まで決定済みです

	出力制御対応機器設置義務なし	出力制御対応機器設置義務あり
平成31年度	24円 / kWh (税込)	26円 / kWh



▶ 3月末までに経済産業大臣承認の価格が決定しますが、
例年、調達価格委員長案がそのまま適用されています。

平成30年度に対応した資料や発電シミュレーションはこちら

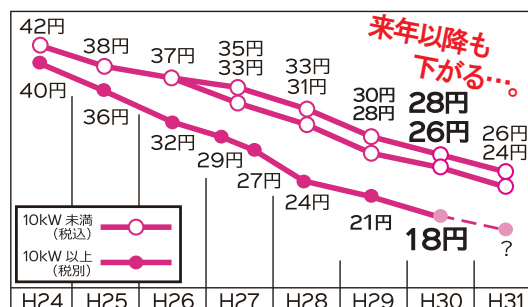
<https://goo.gl/1DA44u> 閲覧するには、e-ishinのログインIDとパスワードの入力が必要です

コラム

買取価格が高いうちに、太陽光をつけるのがお得！

今後も更に利用者が負担する電気代は
上昇することになります。

発電した電気の実買取価格が高く、収益が
見込める今こそ太陽光発電システムを
取り付けるチャンスです！



※全国一律の単価で電気の使用量に応じた金額を利用者が負担します。

平成29年度は1kWh当たり2.64円(標準家庭(一ヶ月の電力使用量が260kWh)で年額8,232円、月額686円)